

03 巻頭言

老年学と死生学

柴田 博 (しばた・ひろし)

一般社団法人日本応用老年学会 理事長 桜美林大学 名誉教授

1965年北海道大学医学部卒業後、東京大学医学部第四内科医員、東京都養育院附属病院(当時)医員、東京都老人総合研究所(当時)副所長、桜美林大学大学院老年学研究科教授、人間総合科学大学保健医療学部学部長を経て、現職。医学博士、日本老年医学会老年病指導医・専門医、日本老年学会・日本老年社会学会名誉会員、東京都健康長寿医療センター名誉所員。1988年に東京都知事賞、2000年に日本文化振興会社会文化功労賞を受賞。近著に『長寿の嘘』(ブクマン社)等。

04 Dia Report

人生100年時代の老後資金準備

森 義博 (もり・よしひろ)

— 欠かせない4つのポイント —

ダイヤ高齢社会研究財団 企画調査部 シニアアドバイザー

一橋大学経済学部卒。1981年明治生命保険(当時)入社。企画部門、企業年金部門、営業所長等を経て、2001年から同グループの研究所で少子高齢化問題、介護保険制度等を研究。2015年当財団企画調査部長、2019年1月から現職。主な著作は「60代の就労に関する意識と実態」(日本FP協会『FPジャーナル』2020年4月号)、「介護経験者に訊いた『仕事と介護の両立』」(東京都 家庭と仕事の両立支援ポータルサイト)等。CFP®、1級FP技能士。

07 フォーカス高齢社会

高齢者による高齢者の健康づくり運動普及の可能性を探る

久保田 直子 (くぼた・なおこ)

— ダイヤビック普及活動を通じての考察 —

ダイヤビックひばり会 会長

元(公社)板橋区シルバー人材センター事務局長。シルバー人材センターの生きがい就業の理念に共鳴し、センターの発展を願うも様々な矛盾に直面。シルバー人材センター時代に「シニアのためのエアロビクス教室」を立ち上げた。2019年6月、『シルバー人材センターが拓くシルバーの時代』(日本橋出版)を出版。現在、知的障がい者の生きがい就業の場である授産施設等運営の(福)にりん草理事長。

10 財団研究紹介

ダイヤビック教室に参加して健康寿命を延伸

樋渡 泰典 (ひわたし・やすのり)

ダイヤ高齢社会研究財団 前常務理事

九州大学工学部卒。1977年三菱化成工業株式会社(当時)入社。製造・技術部門、技術関連の共通部門を経て、2008年監査室室長、2014年11月から2019年12月までダイヤ高齢社会研究財団 常務理事。

12 Dia Information

表紙写真について一言 「北上展勝地の桜と鯉のぼり」

北上展勝地では、毎年桜の開花時期に合わせて“さくらまつり”が開催されます。“さくらまつり”の間中は、約300匹の鯉のぼりが北上川の上を泳ぎ、渡し船も運行されます。(2020年度“さくらまつり”は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりました。)

撮影：秋林 正毅氏「北上展勝地の桜と鯉のぼり」、土田 唯雄氏「ひたち海浜公園のネモフィラ」「利根川河川敷のポピー」「春の伏見稲荷大社」
(いずれも2019年以前の撮影)